

## 令和7年度第1回大阪府立江之子島文化芸術創造センター指定管理者評価委員会概要

日 時: 令和7年5月 29 日(木) 10:30～12:00

場 所: 大阪府立江之子島文化芸術創造センター room8 (オンライン参加含む)

出席委員: 木ノ下委員長、大矢委員、坂上委員、田村委員、土屋委員

### 【議事概要】

#### 1 開会

#### 2 議題

(1) 評価の方法及び実施時期について

(2) センターの運営状況及び評価基準(案)について

#### 3 閉会

### ◎主な意見等

- 委員長 : ただいまの説明について、委員の皆様からご質問やご意見等お願いいたします。
- 委員 : 文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数と、enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数の今年度の目標値について、昨年度と同じであるのは何か理由があるのか。
- 指定管理者 : 昨年度、目標値を達成するため努力したところ、想定よりも件数が多くなったため、今年度も昨年度と同じ目標値にした。今年度も、昨年度を超えられるよう、引き続き頑張りたい。目標値については検討する。
- 委員 : 認知度向上が重要。施設の正式名称が長い一方で、「enoco」だけでは何の施設かわからないと思う。認知度向上についてどのように取り組んでいくのか。
- 事務局 : 正式名称については、議会の承認を経て条例で定められているため、簡単に変更することはできない。認知度向上については、駅や公共施設、万博会場での展示などを行い、戦略的に所蔵作品の活用を進めていく。
- 指定管理者 : 認知度向上に関して、ホームページやSNSの内容を充実させた結果、ホームページのアクセス数が増加した。ホームページをご覧になった方に年間貸しを利用いただいた例もある。引き続き、大阪府と連携して取り組んでいきたい。
- 委員 : 障がい者の方の就労の件について、本人の状況を考慮した上で、就労日数や時間を話し合っているのはとても良いこと。また、阿波座駅の enoco の文字が剥がれかけているので、確認してほしい。
- 指定管理者 : 作業内容についても、本人の希望を聞きながら話し合っている。月に2回程度来ていただいて従事してもらっているところ。

事務局 阿波座駅の enoco の文字については確認する。

委員 : 収支計画書の貸室収入の昨年度実績は。

指定管理者 : 2,112 万 9,670 円。

委員 : 今年度の貸室収入の予算が昨年度実績より低い数字である理由は何  
か。

指定管理者 : 武蔵野美術大学に貸していた約 138 万円が減少する分と、ルーム9の年  
間貸しが増加する分と差し引きして、約 50 万円程度減少するため。

委員 : 外部資金の花王助成金はいつ計上されるのか。

指定管理者 : 令和7年度の事業に対しての助成金なので、令和7年度に計上する。

委員 : 昨年度は文化庁の助成金があったが、今年度は花王以外の助成金はある  
のか。

指定管理者 : 現時点では他に決まっていない。今後も引き続き助成金の申請を出して  
いく。

委員 : 水道光熱費の昨年度実績は。

指定管理者 : 昨年度の水道光熱費は、予算が約 1,500 万円に対し、実績は 731 万  
6,963 円であった。支出が少なかった理由は、照明の LED 化と収蔵庫の工  
事に伴い空調を止めていたため。今は空調が動いているので、今年度はも  
う少し上がる見込み。

委員 : 昨年度の事業費実績は。

指定管理者 : 約 1,395 万 4,255 円で、文化庁の助成金 447 万 2,000 円を引いた 948 万  
2,255 円が事業費になる。

委員 : 支出が減る予定はあるか。

指定管理者 : 昨年度は企画展を3回やったが、今年度は2回の予定であるので、支出  
は減少する見込み。

委員 : 引き続き支出の抑制に努めるとともに、外部資金の確保を目指してい  
ただくよう願います。

委員 : 5年間で約 7,900 点のコレクションのコンディションチェックを行い、今年度  
は約 2,000 点の確認を行うとのことだが、確認や修復を行う作品は具体的に  
決まっているのか。

指定管理者 : 作品のリストを作成し、修復や貸出先が決まっている作品から確認や修  
復を進めてきたが、今後は残りの大型作品等の確認を行う。

委員 : お金も人もかかることなので、次々に修復できるものではないのは理解し  
ている。どの作品に問題があるかを確認し、優先度が高いものを決めること  
が重要。今後もよろしく願います。

指定管理者 : 昨年度、大阪府に相談の上、サイエンスアート作品を修復することを決定  
し、今年度作家の方々に修復いただいているところ。8月にルーム1でサイ

エンスアート展を実施し、9月には万博でも展示する予定。

委員長 : 皆様色々なご意見ありがとうございます。

貸館については、大学や団体に働きかけることが利用率の向上につながると思う。周知の機会を増やすことが重要。

収支については改善の必要があるが、指定管理者への期待として受け止めていただきたい。

評価基準(案)については、事務局で目標値の修正を行い、私の方で確認をした後、委員の皆様の結果をお知らせしたい。

各委員 了

以 上